

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年 10月 3日公開
ラスベガス銃撃テロ

.....
アミールです。現在ニューヨークの朝 10 時です。背後にマンハッタンがご覧いただけるでしょうか。曇りです。ここ数日、本当に悲惨で悲しい日々です。ここアメリカでまた、とんでもない…メディアのポリティカルコレクトネス（書記注:政治的に正しい言葉遣い）に反して言いますが、「テロ攻撃」がアメリカで起こりました。世界の別の場所、ヨーロッパではほぼ毎日のように起こっています。アメリカで前回この規模と同様のものが起こったのは、2016年6月オーランド（書記注:2016年6月12日、フロリダ州オーランドにあるゲイナイトクラブで発生した銃乱射テロ。死者50名、負傷者53名）、今回はラスベガスで起こりました。ラスベガスについては、後ほどお話しますが、その前に、お祈りしましょう。

お父様、あなたが私たち全員に下さった、いのちの賜物に感謝します。これは、誰もが持っている、悲惨な形で奪ったり、利用できるものではなく、あなたが下さった「永遠のいのち」の賜物です。それは、私たちを神の子どもにしてくださった方にしか、与えることが出来ません。私たちの人生を変え、私たちの思考、魂を完全に違うものへと変えてくださった方。お父様、私たち全員の中にある聖霊の働きに感謝します。私たちも以前は迷い出ていました。私たちも以前は、現在の私たちを取り囲む、崩壊した世と同じでした。しかし、本当の「道、真理、いのち」があります。この「いのち」は、私たちの救世主、メシア、イエスを信じる事によってのみ、与えられます。この無償の賜物に感謝します。どうかこのフェイスブックライブを、あなたが守り、全てを支配してください。ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

では始めましょう。今日は ISIS についてお話します。中東で起こっていることに関して、アップデートがありますから。残念ながら、ISIS リーダーの言葉を、多くの人が過小評価しています。彼は 6 日前に 46 分間のスピーチで、この数か月に起こった多くの事を暴露しました。内容は基本的に、カリフのアブー・バクル・アル=バグダーディーが実は生きている、というものです。ロシアは彼を殺害したと報道し、イランは、ロシアの報道は恐らく本当だと報道しましたが、これらはシーア派が支配するメディアです。ずっと嘘をついて来ました。シーア派が広めている嘘の一つは、ISIS は完全に終わったというものです。事実、ISIS は縮小され、私も何度も伝えました。ISIS がシリア国内の領土をたくさん失っているのは事実です。私もそれはお伝えしました。これがまさに、ISIS の指導者が 46 分間のスピーチを公開した理由で、——ところで、我々は彼の声を認識しましたから、それが本人であると分かります。そして、北朝鮮とアメリカの間の緊張感など、彼が話し、匂わせている内容から、このスピーチが非常に新しいものであることも分かります。だから彼は現在、生きています。ロシアが彼を殺したと言ってから、ずいぶん時間が経っていま

す。ISISのスニ派ジハード主義の世界は、様々な側面で殆ど蘇ったと言って良いでしょう。それから、もう一つ言っておきたいのは、ISISは自分たちが行っていない事に対して、犯行声明を出さないように、非常に慎重です。しかし彼らは、自分たちの犯行もしくは自分たちが原因だと思えるものには、直ちに犯行声明を発表します。それは、彼らの格闘がまだ続くことを、人々に気付かせるためです。それも、シリア、イラクで彼らが占領している領土だけではないのだ、ということを知らせるためです。ISISとは「イスラム国イラク・シリア」(Islamic State in Iraq and Syria)の頭文字であることを覚えていますか？彼らはここから始まったのです。しかし、ここ数年の間に彼らは、膨大な数のテロリストをヨーロッパとアメリカに送り込みました。そして、他の人々を上手く採用しています。ある人は、自分の人生に意味を見出すため、ある人は認められるため。彼らを勧誘するには、ただ「天国に行く、最も崇高な目的のために仕えているのだ、72人の乙女が与えられる、そして、あなたの名前は決して忘れ去られることはない。」勧誘には、これで十分です。次に、もう一つ明確にしておきたいのは、先ほども言った通り、ISISは自分たちの犯行でないことに対しては、絶対に犯行声明を出さないように、非常に慎重です。例えば、数日前(10月2日)、カナダのエドモントンでテロ攻撃がありました。犯人はイスラム教徒のようで、ISISの旗を車の中に所持していました。容疑者は車で警察の中に突っ込んでいき、警察官を轢いただけでなく、車から出て来て刃物で刺しました。感謝な事に、死者は出ませんでした。とんでもない犯行です。とても綺麗なカナダの国内で、です。とても綺麗な顔立ちの首相、ポリティカルコレクトネスされた国。しかし、テロはどこでも起こり得る事が露呈されたのです。しかし、そこにISISの旗があったにもかかわらず、ISISはそれに対しては決して犯行声明を出しませんでした。言い換えれば、彼らはテロなら何にでも飛びついているわけではないのです。ISISの旗があったからといって、これがISISの犯行だとは言えません。時に、自分で自分をISISの一員だとして、やりたい放題している人もいます。しかし中には、カリフの兵士として、直接の命令に応答している人もいます。先ほども言った通り、アブー・バクル・アル=バグダーディーが46分間スピーチを公開、ちなみに、そのスピーチはすぐにYou Tubeから削除されました。私はそのスピーチを聞きました。そして、それらを解析してみたところ、基本的に彼が述べているのは、

「我々は確かに領土をいくらか失った。」彼はそれを認めました。

「しかし、それは大したことではない。ただで失ったわけではない。」

「我々は、周囲の人間を疲弊させ、弱体化しているのだ。」

と言ってから、彼は続けて、

「アメリカは非常に弱っている。経済的な困難が理由で、アメリカは自分たちの事で忙しいため、我々は仕事がしやすい。ロシアは、ロシアの問題でどんどん弱って来ている。」そして彼はこのように言いました。

「さあ、G0サインだ。全ての国のあらゆる場所に出て行って、テロ攻撃を行え。」

失礼…その前に、彼はシリアとイラクにいる仲間を励ましました。

「諦めるな。ジハード（聖戦）を続けろ。」と。言っておきます。あのスピーチ以来、シリアだけで、毎日平均 100 人の死者が出ています。一日当たり 100 人です。ISIS が実に上手くやっているのは、確かに彼らはいくつかの町では領土を失ってはいますが、まだシリアの砂漠で膨大な場を支配しています。ロシアやバシヤール・アサドが、かつては ISIS に支配されていた町を取り戻したことで力を得て、そこから何を得られるか、ISIS から何を得られるかと、考えました。そして当然、彼らにすぐ考え付くのは、ガスと石油。大部分において、石油です。ISIS はシリアの砂漠で、いくつもの油井を支配しています。そこで、すぐさまロシア兵に援護されたシリア兵の上級軍が、砂漠に向かって前進したのです。何故こんな話をするのか？それは ISIS が彼らを砂漠で罠にかけたからです。シリアの砂漠は広大です。そして、砂漠に続く道は、非常に少ないのです。そこへロシアがやって来ました。

「石油でも何でも、ここから何かを得よう。我々は、この戦いで多くの資金を費やしたんだ」と。しかし、ロシア軍やバシヤール・アサドの兵士たちが到着する前に、ISIS と常に戦っているクルドがやって来て、そこを占領したのです。今、ロシアは物凄く苛立っていて、同時に ISIS は、もう一つ彼らを驚かせました。ISIS は、シリア内のロシア軍司令官を殺害しました。それから、3 人の大佐——2 人はその場で殺害され、もう一人は負傷して昨日死亡しました。一度の攻撃で、1 人の軍司令官と 3 人の大佐が死亡したのです。恐らく、ISIS が内側で非常に詳細に仕切ったものです。彼らはほぼ毎日、シリアでロシア兵たちを殺し、ヒズボラの兵士たちも同様に殺害しています。それも、砂漠だけでなく、ほんの数時間前にダマスカス中心部にある、嚴重に警備された場所に、車が侵入し攻撃しました。そこで 16~18 人を殺害しました。爆弾を積んだ車一台と自爆兵 2 人が徒歩で。全員 ISIS の人間です。彼らはどこで、いつ、何をすればよいのかを知っています。そのスピーチが何らかの形で多くの命に注入され、そしてメッセージが受け取られたのです。その直後に、フランスの第二の都市マルセイユで、ISIS 工作員が 2 人の女性を刺殺しました。

それからスピーチの翌日、アメリカで——恐らくここ数か月間でしょう。膨大な量の武器や爆発物、銃弾を購入、自宅に貯めていた 64 歳のアメリカ人がホテルにチェックインし、——マンダレイ・ベイ・ホテルです。ちなみにそこは数年前、マニー・パッキョオの対戦週に聖書を教える為、私も何度か泊まった場所です。そして彼は、32 階角のスイート 2 部屋に入り、何度も出入りし、いくつものスーツケースと銃を持ち込みました。16 丁の銃が発見されています。ちなみに、ほとんどの銃は購入するのが不法です。言い換えれば、銃規制はこの場合、この状況では一切役に立たないのです。どちらにしても、彼は不正に入手したのです。ちなみに、サイレンサーも、このような銃には役に立ちません。溶けてしまいます。これは、自動銃です。だから、ヒラリーのツイートは完全に政治的で、一切現実にはそぐいません。ともかく、要点は、男が慎重に計画し、テロ攻撃を行ったという事です。これは、私が思うに、ISIS の指導者の呼びかけに応答した結果です。その理由を説明

しましょう。ISISは、これに対して即座に犯行声明を発表しました。通常、彼らは自分たちに関係なければ、そんな事はしません。そして興味深いことに、即座に一時間後、アメリカの官庁がテロとの接点を一切否定しました。これはオーランドの時と全く同じパターンです。それと、サンバーナーディーノの攻撃（書記注：2015年12月、カリフォルニア州サンバーナーディーノの障害者支援施設で発生した銃乱射テロ）の時も全く同じでした。彼らは即座に「ISISとは関係ない」「テロとは一切無関係」と言いました。そして即座に、銃規制を攻撃し始め、それが全ての悪とされました。皆さん、理解しなければなりません。イスラエルでさえ、1時間や2時間そこらでテロを除外したりしません。何日もかかるのです。噂によれば、フィリピン人の友人、イスラム教徒ですが、彼女はすぐにフェイスブックのアカウントを解除して、二日後に日本に逃亡しました。彼女は容疑者なのですが、それ以上だと思えます。皆さん、理解してください。イスラム名を与えられた男、ISISの殉教者として栄誉を与えられた男は…ちなみに、彼も通常の殉教者らしく、自殺しました。彼の名前をお伝えします。名前はとても重要です。彼らはこの男を Abu Abdal-Bar al-Amriki と呼びました。基本的には、「アメリカの」という意味です。アラブ語で「Amriki」とは、アメリカ人です。それから ISIS はもう一つ確証を出しました。多くの人が ISIS を疑って、「これがカリフの兵士である証拠を見せろ」と ISIS に言ったため、彼らはさらに多くの情報を公開しました。彼らがこの男を数か月前に採用したこと、彼は確かに彼らの代わりに行動したこと。言っておきますが、ISIS は既に2本の動画を公開しています。ラスベガスのテロ攻撃を明確に脅迫した2本の動画です。後のものは、今年の5月、つい数か月前のもので、その動画の中で…ちなみに FOX ニュースがその動画を流していましたが、ラスベガスの通りの、具体的に、あのフェスティバルが行われた場所が、その動画に出ていたのです。皆さん、理解しなければなりません。これらの動画は、ポリティカルコレクト文化のために、You Tube からすぐに削除されました。理解しなければなりません。ラスベガスを脅迫し、彼らは約束した通り確実にそれを実行しました。次に皆さんにお伝えしたいのは、イスラエルの高官たち、また大変有名なイスラエルの教授たちが、ラスベガスのカンファレンスに出席した後、

「ラスベガスの性質上、その安全管理の不足、また、世界中から自由に人々が集まるという事実から、ラスベガスが攻撃されるのは時間の問題だ」

と述べました。多くの人が銃規制、銃規制と言いますが、銃規制とこれは一切関係ありません。ホテル入口の金属探知機が3秒以内にこれら全ての銃を探知するか？金属探知機は、アジアの高級ホテルならほぼ全てで見られます。それと、当然イスラエルでは入口の警備員はどこでも所持しています。誰かが、不法な銃を不法にため込んで行った犯行のために、罪のない人々から全ての銃を取り上げるべきなのか、私には分かりません。事実、公共の建物や公共の場に入人を入れる方法を確認するべきだと思います。この件に関して、私の見解は以上です。きっといろいろな人が「ちょっと待て、結論を急ぐな」と言うでしょう。私は、結論を急いではいませんよ。私は既に報告されたことを、報告しているのです。他

の多くの機関によって承認されている内容です。情報もなしにしたいのなら、好きな事をすれば良い。私はアメリカの高官ではありませんから。しかし、今私が報告したこの件に関して、アメリカの政府には確かな知識があることを、私は確信しています。今回もオーランドやサンバーナーディーノの時と全く同じ、即座に反応して「何もない。全て大丈夫だ」「これはテロではない。ただのキチガイだ」「動機は分からないが、我々が調べるから」とか。男は誰にも一銭も借金はありませんでしたから、経済的な問題ではありません。この男の精神的背景があったかどうか、分かりません。彼は実に頭脳明晰で、ただ、何らかの形で洗脳されて、アメリカ人を殺そうとしたのです。罪のないアメリカ人を殺そうとした。いわば、愛国心に熱いアメリカ人です。そういった人を探すなら、カントリーミュージックフェスティバルが一番です。このテロ攻撃で、もっとも素晴らしいアメリカ人たちが死にました。被害者の名前や、故人の事を知れば知るほど、アメリカの弱点を狙った犯人の知能に驚くのです。もちろん、これによってまた、昔ながらの共和党—民主党の銃規制討論に火がつきますよ。しかし、これは銃規制とは全く関係ありません。

皆さんにもう一つお伝えしたいのは、多くの人があの建物の12階で明かりが点滅している様子の動画をアップしています。そのため、発砲は32階ではなく12階から放たれたんだ、とか、一人以上いたのだ、とか言われています。でも、皆さんに言うておきます。テレビを観て、またこの事件が明らかになるのを見ていると、あの12階でチカチカしていた明かりは、何時間たった後も、FOXニュースの生放送中も、ずっと続けてチカチカしていました。これは電球で、銃の発砲ではありません。発砲は32階から行われました。理由は一つです。銃が発砲できるように、ガラス窓に2つの穴が空いていたのは、ここだけだからです。あのホテルには、バルコニーはありませんし、あそこの窓は開きません。だから、12階の電球はこれとは一切関係ありません。しかし、32階は確かに彼が発砲した場所でした。彼が2ヶ所に発砲箇所を設置して、両方を行ったり来たりしながら行ったのかどうかは私には分かりません。ただ確かなのは、部屋は角の大きなスイートで、彼は窓を破ってそこから発砲しました。それ以外に方法はありませんから。以上です。

それから、皆さんにお知らせしたいのは、ISISが現在行っているのは「消耗戦」と言われるものです。彼らは皆を疲れさせ、消耗させようとしているのです。古代中国のことわざ「戦争で勝つのは、大したことはない。戦わずして戦争に勝つことが、より大きな事なのだ」(書記注:孫子の言葉。百戦百勝は善の善なる者にあらざるなり、戦わずして人の兵を屈するは善の善なる者なり)というのがあります。彼らが行っているのは、ロシアであれ、バシヤール・アサドであれ、砂漠の真ん中で兵士を攻撃する時、また、ヨーロッパであれ、アメリカであれ、彼らが自分たちの問題に取り組むよりも、互いに戦うように仕向け、彼らが自ら疲れ切るようにしているのです。「問題」とは、ここでのISISによるテロです。

ともかく、ここでは確かに困難な時代です。ただ皆さんに言うておきます。創世記 3 章から、既に悪は存在しました。罪が世に入り込んで以来、悪はその副産物です。十戒の中に「殺してはいけない」と書かれていること自体、当時すでに殺人があったという事で、カインはアベルを殺しました（創世記 4:8）。創世記の初めに、既に人は互いに殺し合っているのです。人の心は何よりも陰険で、悪に満ちている（エレミヤ 17:9）。聖書の中の偉大な人物でさえ、その人生にイエスがいなかった時、彼らは反対側の立場にいたのです。使徒の働き 9 章のパウロを思い出します。

1 さてサウロ（彼は後にパウロになります）は、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、

（使徒の働き 9:1）

それから、パウロの転換についてはどうなったか、私たちのよく知る通りですが、同じパウロが、8 章で既に始めていますね。

1 …その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。

2 敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。

3 サウロは教会を荒らし、家々に入って、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。

（使徒の働き 8:1~3）

悪人を変えることが出来るのは、イエス・キリストの啓示だけです。人を殺し、迫害していた男、彼は、完全に神のために行っていると思っていたのです。私は、今回のラスベガスの人にも、同じことが言えると思うのです。彼も、自分は神に仕えていると信じていたのです。アッラーは神ではありませんが。彼はそう思ったのです。そして、サウロは光りを見ます。本当に素晴らしい。彼はただ光を見ただけではないのです。覚えておきましょう。これはただ光だけでなく、「道」であり、「真理」であり、「いのち」です。主が「道」なのです。これを理解しておくのは非常に重要です。聖書には、

2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この【道】の者であれば、男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

（使徒の働き 9:2、【すみつきカッコ】は訳者）

【道】彼が道であり、彼が真理であり、彼がいのちです。彼を通してでなければ、誰一人父のみもとに来ることはありません。（ヨハネ 14:6）今は確かに困難な時です。殺人、流血、あまりにも残虐な事件が世界中で起こっています。パリで起こったのは、今回の 2 倍の惨劇でした。約 2 年前、パリで 180 人以上の人が死んだのです。つまり言いたいのは、蛮行、殺し合い、殺人は世界中で起こっています。もちろん、これはアメリカの近代史上最悪の銃撃大量殺人です。しかし皆さん、イエスが唯一の道、唯一の真理、そして唯一のいのち

です。もし、人の心がどうしてもなく悪いなら、それを変える道はただ一つです。パウロの話は本当に素晴らしく、そこから学ぶことができます。他にも、主にその人生をささげ、根本的に劇的に変えられた人たち、私たちが学ぶことの出来る人物が大勢います。この困難な時代に、私に言えるのは、唯一、イエスだけです。彼こそが道、真理、いのちです。そして、彼を通してでなければ、「誰も」誰も、です。良い人はいません。ただ祈り、お悔やみを言うだけでは、誰も父のみもとには行けません。それも、主との個人的な関係がなければなりません。自分が罪人であることを認め、自分には救い主が必要であることを認識し、そして、自分の人生に主を受け入れる。

祈りましょう。

お父様、この困難な時代、たくさんの事が起こっています。悪が立ち上がって来ています。今はただ困難だけでなく、敵が自分の時の短いのを知り、必死になっている時です。

お父様、どうかこの事によって、人々が大きな疑問を抱きますように。

「もし、今夜死ぬとどうなるのか？」

「もし、あれが自分の身に起こったら？」

「私は、自分の救い主にお会いする準備が出来ているか？」

「私は、私の創造主にお会いする準備が出来ているだろうか？」

「私は、あなたの栄光のために、意味のある人生を送っているか？」

お父様、今日アメリカはニューヨークシティより、また世界中から祈ります。

どうか、この問いの答えを探している人々のいのち、心に、あなたが触れてください。そしてあなたが、彼らを劇的に救ってください。イエスを救い主として、親密に知ることが出来ますように。

あなたに感謝し、あなたを祝福します。

そしてこれら全てをイエスの御名によって祈ります。

ヴェイシエメレハー	アドナーイ	イェヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール
וַיְהַנֶּךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

その平和は、政府が与えるものでも、軍があたえるものでもなく、すべての理解をはるかに超えた平和、唯一、平和の君から来る平和です。

ありがとうございます。God bless you!

信仰を保って、強くありましょう。終わりはもうそこまで来ています。もうすぐここを出て行きます。御父の仕事に励みましょう。愛と情熱をもって御言葉を伝えましょう。そして人々に希望を与えましょう。私たちがしっかりと握りしめるべき希望を。確かに、その日が近づいている希望です。

ありがとうございます。God bless you! Shalom! Bye!

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>